

経営比較分析表（令和3年度決算）

栃木県 下野市

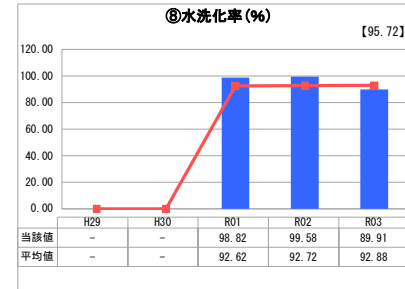
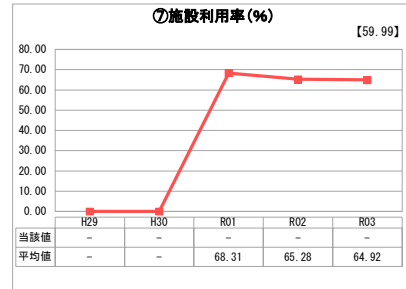
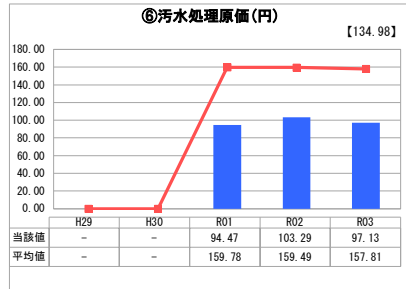
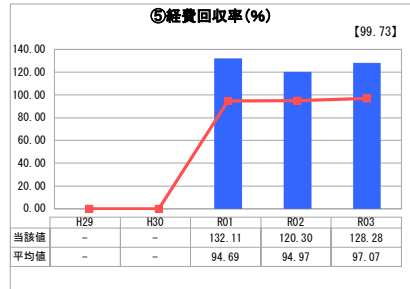
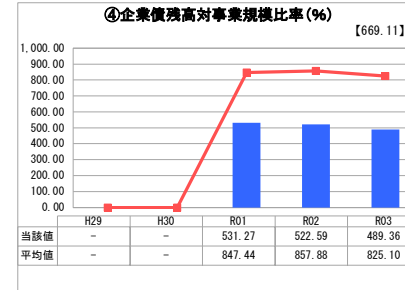
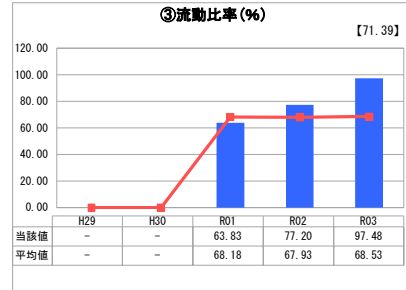
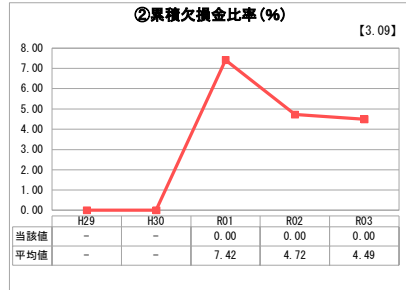
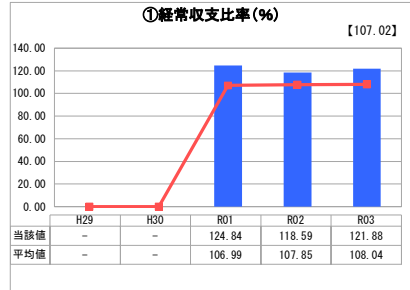
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|------------|--------------|---------|---------|---------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Bd1 | 非設置 |
| 資金不足比率 (%) | 自己資本構成比率 (%) | 普及率 (%) | 有収率 (%) | 1か月20m ³ 当たり家産料金 (円) |
| - | 76.47 | 71.70 | 74.46 | 2,530 |

| 人口 (人) | 面積 (km ²) | 人口密度 (人/km ²) |
|-------------|---------------------------|--------------------------------|
| 60,202 | 74.59 | 807.11 |
| 処理区域内人口 (人) | 処理区域面積 (km ²) | 処理区域内人口密度 (人/km ²) |
| 42,967 | 9.21 | 4,665.26 |

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、⑤ 経費回収率
 経常収支比率は前年度から3.29%増加し121.88%で、類似団体平均を上回り、健全な状態にある。また、経費回収率も128.28%と100%を上回り使用料収入により、汚水処理ができていない状態にある。しかし、未だ繰入金に依存した収入構造となっているため更なる収入の確保に努める必要がある。

③ 流動比率
 流動比率も、前年度を20.28%上回り97.48%となり、類似団体平均も29%近く上回っている。次年度の償還金等を賄う現金預金がほぼ準備できている状況にあるが、今後も経費の節減等に努め、更なる経営の安定化を進める必要がある。

④ 企業債残高対事業規模比率
 類似団体平均値を下回り489.36%となっている。

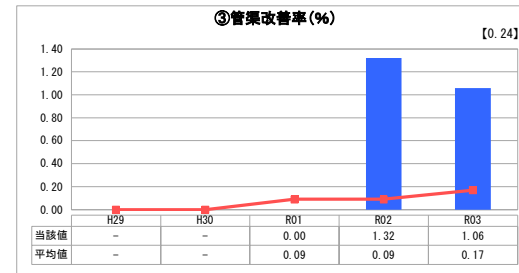
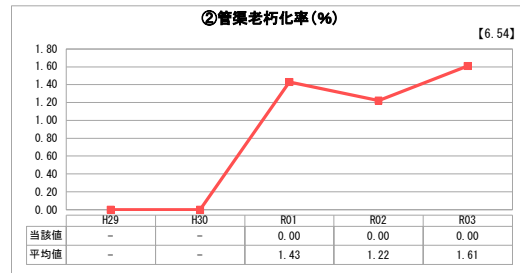
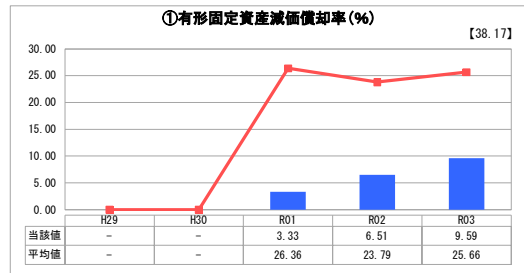
⑥ 汚水処理原価
 汚水処理原価は97.13円で、類似団体平均を下回っている。

⑧ 水洗化率
 水洗化率は89.91%で、類似団体平均値92.88%を若干下回っている。管渠整備は順調に進んでいるが、家の改築に合わせ接続を見合わせる世帯が目立つ、接続に向けた普及啓発に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

まだ、法定対応年数を超えた管渠はないが、S61年度から供用開始しており、今後修繕箇所が増加が予想される。しっかり準備して対応していかなければならない。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率は121.88%で経費回収率も128.28%であり、汚水処理原価も類似団体に比べ低い水準であるが、総収益に占める繰入金割合が依然高く、引き続き水洗化率の向上を図り、料金収入等の確保と費用削減に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。